

私の目に映る日本

王 燭桐

はじめて日本のことに触れた時、わたしは
 まだ小学生でした。テレビで日本のアニメ宮
 崎駿の「もののけひめ」を見た時に宮崎駿の
 物語に引かれました。その時はアニメの中の
 道理がよく分からなかったけれど、すばらし
 いアニメだと思いました。そして、いつか自
 分もこのアニメが出てくる国に行きたいと思
 いました。

はじめて日本へ来たときはわたしはまだ子
 供でした。その時のことはよくおぼえていま
 せんが、その時見た光景で本当におどろいた
 ことは、たくさんのかか公園の中にあるき
 人をこわがらないし、人もしかをこわがらな
 かったことです。それは今まで見たことにな
 い光景でした。いま考えると、これは人と自
 然の中の平和だと思います。

今思えば、たぶんその時わたしは日本のこ
 とにとってもきょうみを持ってたかもしれません

わたしは中学生の時、ある本を読みました。その本の名前は「現代の日本」です。その本はアメリカ人が書いた本でした。けれどもその本のおかげで、わたしは日本の明治維新、第二次世界大戦、自民党体制などさまざまなおことはすこし理解しました。しかし私には一つの疑問がありました。それは今の日本人はどのように生活しているのか、ということでした。そして、高校を卒業したわたしは日本へ来ました。でも、日本へ来たばかりの時はいろいろなものに慣れていませんでした。たとえばことばとか食事とかです。その中でもお礼がいちばん慣れてませでした。日本は中国と比べてお礼が非常に多いです。いままで日本で生活している間に、わたしはお礼も日本人の生活の一部だということに気づきました。日本の交通はとても便利です。だから、わたしは毎日電車に乗って学校に通っています。電車に乗る時わたしが気づいたのは、日本人は電車に乗る時ほとんど話さないということ

です。みんな全部自分で何かしています。もし話すなら小声で話します。はじめわたしは電車に乗ったとき大声で話したら、電車の中の人全員わたしに注目したのでほんとうにびっくりしました。

日本へ来る前に期待したものはさくらです。前に日本へ来た時には一度もさくらが見られませんでした。今回日本へ来てやっとさくらが見られました。

桜が散るのを見た時、それはとても美しく、私は日本人がどうしてこんなに桜が好きになったのかを理解できたようで、本当にとてもきれいでした。

日本へ来る前に他の人から日本の地震がとても多いと聞いていました。私はずっと日本人は地震が来た時どうするかと思っていました。それから、二コーズで日本人はみんな地震のあとで避難所でいっしょに生活しているのを見ました。簡単な家ですが、日本人はみんな助け合っていました。これを見て私は日

本人の精神にかんどうしました。そして、災
害の時、人命を助けることには本当に人をけ
いしました。

日本に来る前は、と不安な気持ちがあっ
て私は、と自分が日本の生活に適応するこ
とができるかどうか考えていました。しかし
日本に来てからこのような気持ちか減って
きました。日本人はみんなとても親切で友好
的です。これから私は大学に入り、日本で
生活していきたいと思えます。